

令和3年度 農商工連携推進事業（民間委託事業）

◆事業の目的◆

本事業では、学生等と地元事業者とのマッチングによる新メニューや新商品開発の支援に取り組み、東三河地域の産業振興を図ることを目的に実施した。

【マッチング1 サツマイモ農家「農園そもそも」×愛知大学】

- ・さつまいもは流通規格が決まっており、サイズが大きいものは、低価格での取引されてしまう。そこで、さつまいもを使った和菓子の開発をしたいと思い、若い人の意見や考えを取り入れ、既存の概念に捉われない「**鬼まんじゅう**」を開発した。

◆参加学生 愛知大学 文学部、地域政策学部、短期大学部の1～4年生14名

◆実施概要 対面式のグループワークの実施（4回）場所：豊橋市ガクラボ
試作品の販売・試食の実施（12月4日「ほの国できたてマルシェ」場所：emCAMPUS East）
2月末に豊橋市内のマルシェで開発商品の販売（コロナのため学生参加はなし）

◆開発商品 商品名 いろいろ食べる鬼まる
種 類 プレーン・紫いも・シナモン・レモンの4種類の味
その他 「鬼のイラスト」「プチサイズでカップ入り」「カップにつまようじをセットする」等

【マッチング2 洋菓子店「マッターホーン」×豊橋商業】

- ・老舗洋菓子店があるゆえに定番商品のイメージが根付いており、お客さんの年齢層も高めであるため、若い人の意見を取り入れた「**マッターホーン**」をベースとした**新商品開発**を行うことで若い方から支持される商品を開発した。

◆参加生徒 豊橋商業高校 経理科 3年生10名

◆実施概要 対面式のグループワークの実施（5回）場所：豊橋商業高校校舎
試作品の販売（11月14日「とよはしインターナショナルフェスティバル」場所：ココニコ）
試作品の販売（12月4日「ほの国できたてマルシェ」場所：emCAMPUS East）
商品の実演販売（2月18日、マッターホーン本店）

◆開発商品 商品名 フレンチマッターホーン・きなこがけ抹茶モンブランタルトの2種類
販売価格 1個350円（税込み） ※2つとも生徒の商品アイデアを基本としている。

※12月4日の「ほの国できたてマルシェ」では購入者・試食者に対してアンケートを実施

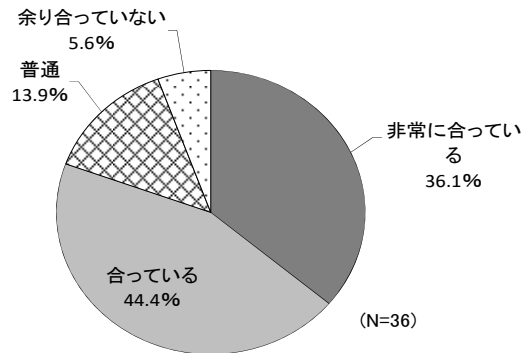
2021年12月4日のアンケート集計結果

【サツマイモ農家「農園そもそも」×愛知大学】

・回答者数 37人 性別：男性12名、女性17名 / 年齢階層 40代24%、10代21%、20代17%等

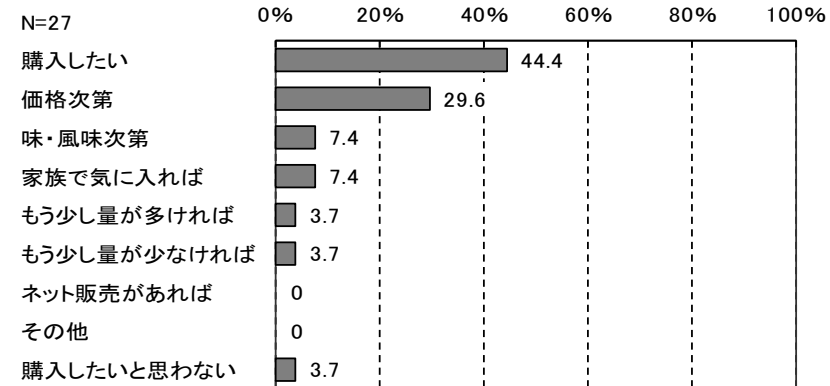
【ネーミング（いろいろ食べる鬼まる）】

・「非常に合っている・合っている」で81%を占め、多くの方がマッチしていると感じ、「かわいらしい」との意見もある。



【購入意向（試食者対象）】

・今後の購入意向では、「購入したい」(44%)が高く、「価格次第」(30%)も一定数あるが、概ね購入に前向きである。

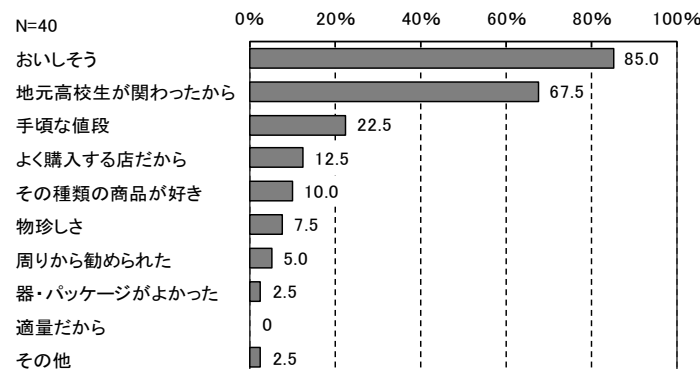


【洋菓子店「マッターホルン」×豊橋商業】

・回答者数 40人 性別：男性12名、女性27名、未記入1名 / 年齢階層：10代39%、40代18%等

【購入理由】

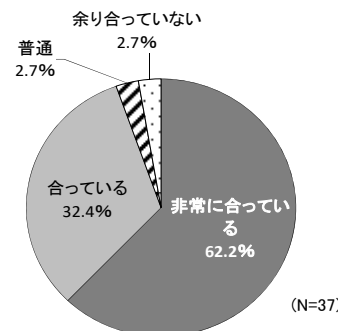
・「おいしそう」(85%)が最も多く、次いで「地元高校生が関わったから」(67.5%)であり、商品としての魅力（おいしそう）と、作り手の魅力（商業高校が関与）が購入の主要動機である。



【商品のネーミング】

・「きなこがけ抹茶モンブランタルト」は、「非常に合っている・合っている」が95%を占め、マッチしている感が強く、わかりやすい等の意見が多い。「フレンチマッターホーン」も、「非常に合っている・合っている」が97%を占め、マッチしている感が強く、おいしそうに感じられるとの意見が多い。

きなこがけ
抹茶モンブラン
タルト



フレンチマッ
ターホーン

